

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アルファスマート姫路駅南	階数	地上10F
建設地	姫路市延末一丁目5番、37番、38番	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	270人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年4月 予定	評価の実施日	2025年7月7日
敷地面積	2,742㎡	作成者	御手洗 孝幸
建築面積	746㎡	確認日	2025年7月10日
延床面積	5,974㎡	確認者	出嶋 大二郎



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	98%
③上記+②以外の	98%
④上記+	98%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.8**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.2
温熱環境	3.5
光・視環境	3.5
空気質環境	3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.9
耐用性	3.0
対応性	2.8

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システム効率化	4.9
効率的	3.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	1.6

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.0
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	できる限り建築物を南側に配置し、北側敷地への影響を配慮した。	<b>その他</b> 型枠をできる限り転用できるよう、簡単なグリッドの計画とした。
<b>Q1 室内環境</b>	住戸南側の窓をできる限り大きくすることにより自然換気を十分に行え、また日中はリビングが明るく照明を必要としないよう配慮した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 付近への砂埃などを軽減するため、できる限り舗装を行うよう配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b>	共用空調機においてはエネルギー効率の高いものを採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし。
<b>Q2 サービス性能</b>	エントランスの床・壁に大判タイルを使用し、清掃しやすくなるよう配慮した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される